



広報

ものづくり

人材育成活動メニューを新たにスタート

現場力が身につく リーダー研修 を年二回開催

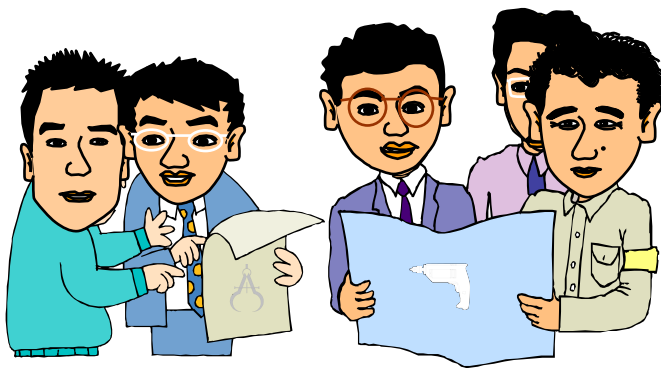
第一回 平成20年5月～7月 第二回 平成20年10月～12月

職場には色々な問題が隠れています、問題を見つけ真の原因から具体的な対策案を実行できる優秀なリーダー育成コース

対象者：市内中小製造企業

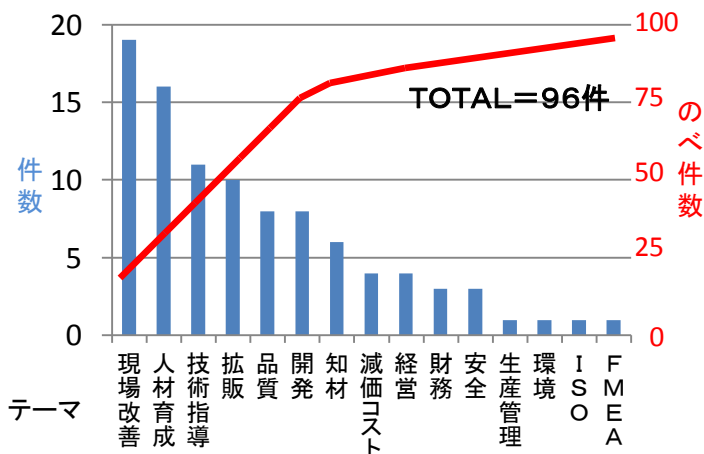
様々な業種の仲間と
議論し 体験し
学び 互いに
成長しませんか

※詳しくは支援室まで お尋ね下さい



支援実績

100件に迫る



おすすめテーマ

人手不足で困っていませんか

- ・突発残業が多い
- ・マンネリ残業が多い
- ・休日出勤が発生する
- ・作業者の士気も上がらない
- ・効率が上がらない
- ・無駄な経費を使っている
- ・パートを採用することもままならない

こんな職場の改善なら
任せてください

◇活動事例紹介

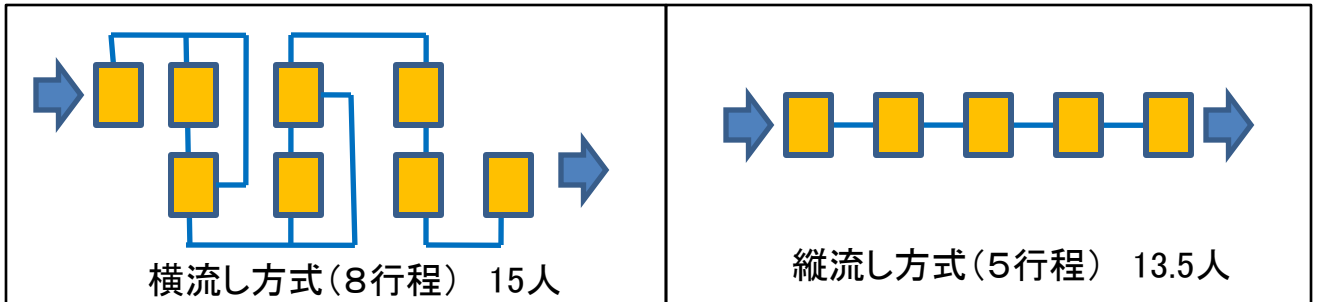
省人1.5名と生産量20%アップ!!

テーマ: 小組作業の効率的流し方

支援期間 3か月

BEFORE

AFTER



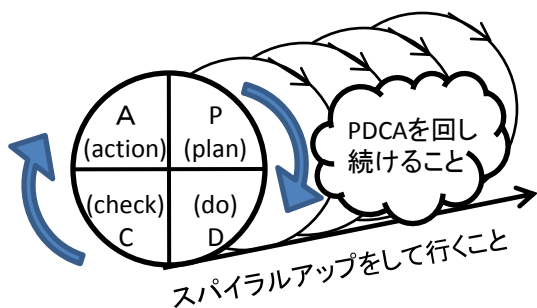
- 〈施策〉
1. 平準化工数の導入
 2. 流動数のミニ化
 3. 流し方変更
 4. 総合レイアウトの変更

- 〈生まれた効果〉
- ・省人・・・1.5人(工数ベース)
 - ・生産量20%アップ

◇用語解説

P.D.C.A.を回せ!! = 管理のサークル =

仕事は、まず目的・目標を明確にし、計画を立て、人が作業することになります。この結果、実績と計画との差があれば、やり方を変更したり処置をとります。このような活動を管理といいます。



P: 計画を立てる(目的・目標・施策・日程・体制)

D: 実行する(実施・教育・訓練・安全宣言)

C: 結果を確認する(計画:実績=差異)

A: 結果をみて必要なら処置, 修正する

**現場ではC(チェック)から入る
CAP.Doを始めてみよう**

◇ お知らせ

- ・4月から鈴鹿市のホームページの中に支援室のコーナーが出来ましたのでご覧下さい。
- ・各企業様を巡回メンバーが訪問しています。お声をかけて下さい。
- ・第5号から皆様のご意見を紙面に反映リニューアルをしました。紙面に対する意見をお聞かせ下さい。

【発行】

鈴鹿市産業振興部 産業政策課
鈴鹿市ものづくり動く支援室
〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)

TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868

E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp